



# 琴清苑だより



発行：社会福祉法人 双葉会  
 介護老人福祉施設 琴清苑  
 編集：広報委員会

〒198-0212 東京都西多摩郡奥多摩町氷川1099  
 TEL 0428-83-3932 FAX 0428-83-3706  
 URL <http://www.futabakai.or.jp>  
 e-mail kinseien@futabakai.or.jp

第21号



模擬店 双葉ダーナの会の協力にて行われました



ご近所から入所された渡邊マサ様とご家族の渡邊守男様



演芸 羽黒三田神社囃子振興会によるお囃子の披露



演芸 西川寛之祐会による踊りの披露

## 敬老の日を迎えて

「あいさつ」  
 生活相談員 佐々木健児

**敬老感謝祭**  
 広辞苑で敬老を調べて見ると老人を敬う事と出ています。入所利用者を敬ってお世話させていただくことに感謝をさせてもらう。こういう意味を持って琴清苑では敬老感謝祭を開催させていただいております。今年で28回を迎えることが出来ました。長い歴史の中で、敬老会の内容もかなり変化してきました。初期には数々の記念品やお祝い金を配布し、お祭りのようなにぎやかな雰囲気で開催しておりました。介護保険導入後、式典や祝い金品は簡素化されつつあります。こういったなかで利用者の笑顔は過去から現在まで変わらず見られております。利用者の笑顔が見られると、今年も利用者をややまい感謝させていただけ無事に敬老感謝祭が行えてよかったですと思います。日ごろの業務と異なる業務を行ったためか心地よい疲労感が残り、来年も笑顔が見られることを期待して職員達は家路に向かいます。



### 平成16年度東京都 実地指導について

8月27日(金)に東京都福祉保健局指導監査室指導第一課施設サービス検査係員3名による実地指導が行われました。施設見学の始まり、運営管理・会計書類の確認及びヒアリングが行われ、概ね良好な施設運営がなされており、好評を受けていることが嬉しかったです。これから皆様の充実に向けた努力を行きたいと考えています。



### 入苑申込者待機状況

当苑に申込をいただいた方が、この七月末で90名を越えましたが、既に申し込みから三年以上経過している方もいます。その為、ここで待機者数の正確性を期す意味からも平成十三年・十四年度に申し込まれた方、32名に対して書面にて、引き続き申込待機者として意思が有るか無いかの確認をさせていただきました。回答としては、今後も8名の方が申込続行、他施設入所・死亡の方が4名づつ、残りの方につきましてもは残念ながら回答が有りませんでした。今後、この方法で申込待機者の状況を把握して行きたいと考えています。平成十六年九月一日現在の申込待機者につきましては下記の表のとおりです。

申込待機者一覧表

性別	男性人数			女性人数			合計	
	3以下	4以上	小計	3以下	4以上	小計		
介護度別								
年度別	14年度	3	2	5	2	1	3	8
	15年度	6	17	23	5	7	12	35
	16年度	1	8	9	3	10	13	22
計	10	27	37	10	18	28	65	

### 自衛消防訓練 効果確認

9月17日に自衛消防訓練効果確認が、奥多摩消防署立会いのもとに行われました。琴清苑選抜メンバーは、荒井芳子介護主任・原島憲二・島崎美雪・杉田理子介護職員・浜中勉看護職員の5名で夜間を想定した訓練を行いました。



### 勤続10年表彰

第28回琴清苑敬老感謝祭が9月15日に行われ、式典の中で荒井芳子介護主任が勤続10年表彰を受けました。荒井介護主任は、平成6年4月1日付で寮母として採用され、平成14年4月1日より現在、介護主任として活躍中です。



### 盆供養

毎年、お盆を迎えるにあたり物故者の冥福を祈念し合同法要を行います。7月12日(月)仏間において利用者の皆様、新盆となる家族の皆様、職員で盆供養が行われました。利用者の方も御詠歌を唄われ、おそかに行われました。最後に方丈様のお話を皆さん真剣に聞かれました。



新盆供養の様子

迎え火・送り火  
琴清苑の前庭にてお盆の迎え火及び送り火を行いました。



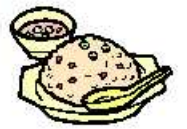
写真上  
迎え火で線香を上げる山田智恵子様  
下  
おがらを炊いている様子

# 昼食会

7月16日、月に一度行なわれる昼食会がありました。今回のメニューは、中華料理のコースで皆様沢山のメニューに喜ばれ、お話をしながらゆっくりと食事を食べて頂きました。暑い時期の飲み物（日本酒・ワイン・ジュースなど）が好評でかわりをされていく方が沢山いらっしゃいました。これからも利用者皆様に喜んで頂ける様頑張ります。



写真上  
昼食会を楽しむ  
鈴木筆子様



写真右  
7月のメニュー  
(中華料理)

# 小、中学生ボランティア

8月30日(月)、琴清苑で介護をしている職員の子供達が、夏休みを利用してボランティアを行いました。



上段左から 杉田勇人・清水大地・後藤裕也・杉田大地 下段左から 清水杏南・後藤真理

以下に感想を頂きました。

思ったより大変だったけど、いろんなおじいちゃん、おばあちゃんとしやべったりして楽しかった。お母さんの働いている所を見て大変だなーと思いましたが、おじいちゃん、おばあちゃんといういろんな事をしやべった。

最初は楽な仕事だと思ったけど、やってみるとけっこう大変だと思った。 清水杏南

昼食をあげてみたけど思い通りに食べてくれなかったりしたが、最後の方は食べてくれた。 杉田勇人

楽な仕事と思っていたが昼食をあげたりするのがとても大変でした。後かたづけは良く出来ました。 清水大地

昼食をおじいちゃんやおばあちゃんに運んだり、かたづけをやったりして、動き廻って大変だった。 杉田大地 後藤裕也

# 誕生会

9月3日に9月生れの利用者8名の誕生会が行われました。氷川保育園から、かわいらしい園児が10名お祝いに来苑しお遊戯を披露してくれました。園児から、誕生者一人々に「お誕生日おめでとう」のカードを渡し利用者のありがたい声がかまされた。



写真上  
保育園園児によるお遊戯の披露



写真右  
園児とのふれあいに喜ぶ利用者の方々

# 敬老感謝祭

9月20日敬老の日に、敬老感謝祭が行われました。今年の敬老祝品受給者は以下のとおりです。施設より

- 男女最高齢者
- 男性 桑原豊治 (86歳)
- 女性 原島ヤス (96歳)
- 米寿 菅野トシエ
- 卒寿 山田カン・大館ミネ
- 傘寿 大川清子
- 喜寿 佐藤弘悦・佐々木栄子
- 藤田セキ・山田智恵子
- 山田富夫・山田秀雄
- 石塚新之助・石川光雄
- 萩原とし子・福島トヨ子
- 松本忠男・石川イト
- 古希 協力善行賞 石川イト



武井イツ子様とご家族

なお、常盤自治会より全員の日常生活品と祝金を頂きました。利用者ご家族・ボランティア(双葉ターナの会・羽黒三田神社囃子振興会・西川寛之祐会・寿楽荘職員)の協力により盛大に会が行われました。

# ドクター中野の星のおはなし No.13

## 黄道12宮と占星術

地球から太陽の動きを見ると1年かかって地球上をひとめぐりするように見える。この太陽の通った道を黄道とよぶ。昔からこの黄道に沿って12の星座の大部分は動物の名を持っているので、黄道の両側16°の巾を獣帯ともいう。この星座は大小不同で獣帯を12等分して太陽・月等の運行に役立つ様工夫された。12等分となるとその一部は $360^\circ \div 12 = 30^\circ$ となりその一つ一つを宮(きゅう)と名づけた。

太陽・月・五大惑星などが帯からはみ出して動く事がないと古代人も学んだ。宮を星座と合わせるため、春分点がおひつじ座のとき、白羊宮と対応させた。ところが、春分点は地球の首振り運動(歳差)のため宮の星座とズレが生じ益々多くなっていく。

「おひつじ」の原点は今は「うお座」に移っている。星座の星々も年月を経るうち固有運動で位置も形も変る。古代人の人々は日々の太陽の動き・月の姿・満天の星・五大惑星の動きの神秘性に、ただおどろくだけだったと思われる。天変地異・国家の興亡・何とも説明のつかぬ事ばかりが起り、星占いに結びついたであろう。

占星術の始まりは古代バビロニア地方だという。その当時の占いは今年の日照り等といった素朴な話だったらしい。黄道12宮による占いはギリシャで生まれ、のちカルデアの占星師たちがギリシャ・ローマに流れ広められたと言う。現代の西洋占星術は「宮」が使用され、個人の運命は生まれたときの太陽・月・惑星の位置、惑星が地平線上か地平下

たかが記録され、ホロスコープといわれる。これと各惑星、宮の持つ性格との関係で決定されたという。星相互の想像もつかぬ遠距離にあること、そのスケール等を考えてみると、個人の運勢と占星術は無関係としかいいようが無い上、もはやお遊びに過ぎないと言われている。また近頃よく聞く生まれ月の星座は正しくは「宮」をあらわし、星座とごっちゃになっている。又歳差で星座のずれが起りそのため他の星座が一部宮に食い込む事がありこれを黄道13宮等と唱える人も居るが誤りである。

現代のように不安・戦争・心配事等々が多いときは、星占いが商業主義と共に弱い者の間に偲び込む。占星術も盛衰がある。ただ占星術で熱心な天体観測が行なわれ、天文学が進歩したには違いない。



図 黄道12宮

## 行事予定

12月	11月	11月	10月	10月	10月	10月	10月
月	月	月	月	月	月	月	月
24日	10日	26日	12日	29日	26日	8日	1日
日	日	日	日	日	日	日	日
屋敷食会	お寿司の日	屋敷食会	お寿司の日	十夜	誕生会	三夜	運動会



## 入苑された利用者 (7月〜9月)

- 7月 角田八二様 (文京区)
- 8月 齊藤タカ様 (奥多摩町)
- 8月 信田政彌様 (日野市)
- 9月 小林有子様 (新宿区)

## 職員の異動

- 退職 浜野経子 (パート職員)

## ボランティア状況 (7月〜9月)

(敬称略)

- シート交換 酒井久・杉山初・馬場静子
- 指圧奉仕 奥多摩奉仕会
- 介護補助 鶴見大学短期大学部
- 地域の小・中学生



## 職員紹介

介護職員 郡司ハル子



介護職員として十五年間お世話になりありがとうございます。当初は何もわからず不安でいっぱいでしたが、先輩の皆様には色々学びながら今まで頑張ってきたらと思います。利用者の皆様、職員の皆様との出逢いで楽しかった日々や今まで知り得なかった色々な経験をさせて頂きました。定年まで残り少ない期間ですが最後まで一生懸命頑張ってきました。ありがとうございます。

## 編集後記

平成十一年十月一日に第一号を創刊して、今号で満五年を迎える事が出来ました。今後も誌面には、利用者活き活きとした表情を掲載していきたいと考えています。利用者近況を、写真や記事を通して、皆様に喜んでいただける広報誌の発行をめざして委員一同、一丸となって頑張ります。